

vol.109

# ぐんぱる

練習の成果を全国で

日整全国柔道大会選考会

8

2022



1面

令和4年度第1回生涯学習講習会  
軽症頭部外傷について 柔道を中心に

# 意識障害なくとも 医療機関へ搬送を検討

「軽症頭部外傷について 柔道を中心に」



## OUTLINE

群馬県柔道整復師会は、7月10日(日)、前橋テルサで「令和4年度第1回生涯学習講習会」を開催。第42回関東学術大会群馬大会の特別講演「軽症頭部外傷について 柔道を中心に」日本脳神経医学専門医 笹口修男先生のビデオが上映された。

講演の冒頭で頭部の解剖学について触れ、架橋静脈の重要性を説明。架橋静脈は成人より子供の方が直線化しており、走行に余裕がなく血流量も豊富で、損傷すると大出血を起し、脳へ重篤な障害をきたしやすいという。スポーツ、特に柔道は転倒による外傷が多く、この際に架橋静脈が破損しやすい。これが脳震盪や急性硬膜下血腫を引き起こす原因となりうる。

## 脳震盪の特徴

脳振盪の典型的なものは短時間で自然回復するが、時には症状・徴候が長引く例もある。

そのため頭痛・めまい・ふらつき・吐き気・嘔吐などの症状が一つでもあれば脳震盪を疑い、また一旦改善したとしても、評価を継続していくべきだという。脳振盪は再発しやすく、繰り返すことで重篤化する危険性があり、時には急性硬膜下血腫などの症状が隠れている事例もあるからだ。また、必ずしも意識障害は伴わないため、「現場での判断が予後の軽重を分けます」と脳振盪を疑うことの重要性を強調した。

## 急性硬膜下血腫について

架橋静脈の破綻により発生する急性硬膜下血腫は、架橋静脈からの出血が多ければ、意識障害に陥り緊急手術になることもある。断裂がわずかで出血が少なければ軽度の頭痛が継続する程度であるが、そのまま競技を続行させるのは、非常に危険であると指摘。重症化リスクが高く、高度障害や最悪の場合、死に至ることもあるからだ。

柔道における発生原因の多くは熟練度・体力差がある相手との練習中だという。そのため受け身の指導の徹底や、熟練度に応じた練習が予防には効果的だ。また、重症頭部外傷中には、頭痛を訴えていた例があり、日頃の体調管理を心がけるなどが重要であると訴えた。

## 指導者としての判断力

今回の講義を通して笹口先生が強調したのは、脳震盪を疑うことを恐れないということだ。判断を躊躇して決断を先延ばしにしてはいけない。選手の脳振盪が疑われた場合には、意識障害が無くとも速やかに競技から離脱させ、状態に応じ医療機関への搬送を検討しなければならない。

柔道整復師は、競技者・指導者・救護活動と様々な面から柔道と密接に関わる場面も多く、今回学んだ知識を「安心・安全・楽しい柔道」の普及に活かすことが肝要であろう。



講師  
紹介

笹口 修男 先生

日本脳神経医学専門医・身体障害者福祉法指定医。現在は独立行政法人高崎総合医療センター脳神経外科部長。

## 体操指導 健康寿命を伸ばすきっかけに



6月26日(日) 渋川市ほっとプラザ(渋川社会福祉センター)で「いきいきフェスタ2022」が開催された。渋川吾妻地区柔道整復師会は「国家資格をもつ柔道整復師が教える、家でもできる腰痛体操」としてブースを設け参加。市民の健康寿命を伸ばす一助にと、体操指導をおこなった。

いきいきフェスタは地域の医療・看護・介護の専門職と渋川市・榛東村・吉岡町が「地域住民の健康寿命を延ばす」きっかけづくりにと2017年から始まったものだ。

教室を開催するにあたって、マスク着用、手指消毒、人数制限等を施し、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底。

今回指導した腰痛体操は、第39回関東学術大会で沼田地区の井浦将文会員が論文発表したものをベースにアレンジ。実際に体操を体験することで、参加者自身の健康状態に向

き合うきっかけとなったようだ。

健康寿命を伸ばすプログラムはさまざまな自治体が導入しており、同様の取り組みは今後も広がっていくだろう。当会としても体操指導を通して市民の健康に関するニーズに応えながら、どうすれば適切に指導することができるか、模索していきたい。

報告 狩野浩一



指導参加者(敬称略・順不同)

嶋村和彦、新井好夫、笛木哲、宿原健太郎、狩野浩一

## 日整全国少年柔道大会 選手選考会

# 5名を県代表選手に決定

(公社)群馬県柔道整復師会は6月19日(日)、「ヤマト市民体育館前橋」の柔道場で「第31回文部科学大臣杯争奪(公社)日本柔道整復師会(以下、日整)全国少年柔道大会」に出場する県選手選考会を開催した。

長引くコロナ感染症の影響で、県内各地区の柔道場・スポーツ教室等が練習休止を余儀なくされている状況下であっても、感染対

策を工夫し、地道に練習を続けてきた小学4年生から6年生、総勢22人が参加。全国大会への出場を目指し、試合に臨んだ。

各学年上位に入った選手の中から4年生は石黒かなた泰太君、5年生は齋藤るい琉偉君・福田ちひろ千紘君、6年生は

山本たいが琥雅君・関口いぶき粹颯君の5名を県代表選手として選考した。



## 日々の鍛錬 全国へ

## 佐藤・齋藤組が本大会へ

### 日整全国少年柔道形競技会 選手選考会

「第12回日整全国少年柔道形競技会」の選手選考会は、柔整館群接



道場で6月28日(火)午後8時から開始された。この選考会には、藤川進会員(高崎)が指導する曾我恒太・山田そうりゅう蒼琉組と、本多重雄会員(草津)が指導する佐藤いつせい壱成・齋藤るい琉偉組が参加。

少年形競技会は、講道館「投げの形」の

手技(浮落・背負投げ・肩車)、腰技(浮腰・払腰・釣込腰)、足技(送り足払い・支釣込足・内股)の左右、計18本の技を演技する。演技の流れや技の完成度だけでなく、礼法、足運び、演技中の態度も審査の対象となる。

厳正な審査の結果、佐藤壱成・齋藤琉偉組の本大会出場を決定した。



# 8月の休日当番施術所

|        | 前橋                      | 伊勢崎佐和                       | 桐生みどり  | 太田                     | 高崎  | 富岡甘楽                      |                         |
|--------|-------------------------|-----------------------------|--|------------------------|---|---------------------------|-------------------------|
| 7日(日)  | なお接骨院<br>027-288-0504   | 松島接骨院<br>0270-25-0018       | 近藤接骨院<br>0277-72-1455<br>福間接骨院<br>0277-44-5100   | 須永接骨院<br>0276-48-8008  | 林接骨院<br>027-371-3708<br>櫻井並榎接骨院<br>027-322-6658   | たちばな鍼灸接骨院<br>027-393-6810 | 矢島接骨院<br>0274-63-0278   |
| 11日(木) | かすかわ接骨院<br>027-289-6933 | 上飯島接骨院<br>0270-65-0950      | 藤倉接骨院<br>0277-43-5374<br>のざわ接骨院<br>0277-46-8915  | 木暮接骨院<br>0277-78-3455  | さまた接骨院<br>027-372-2178<br>岡田鍼灸接骨院<br>027-370-2727 | おおるい接骨院<br>027-384-8607   | 矢島接骨院<br>0274-63-6840   |
| 14日(日) | 一貫堂接骨院<br>027-231-8215  | 接骨院かく伊勢崎茂呂院<br>0270-20-7833 | 武井接骨院<br>0277-77-1156<br>ひろさわ接骨院<br>0277-46-6633 | 正木接骨院<br>0276-56-2397  | 萩原接骨院<br>027-323-8020<br>さくら整骨院<br>027-315-5106   | 前田接骨院<br>027-326-9850     | あおぞら整骨院<br>0274-63-5133 |
| 21日(日) | せきぐち接骨院<br>027-226-6202 | てつじ接骨院<br>090-2142-0761     | 中村接骨院<br>0277-32-1878<br>みのる接骨院<br>0277-55-1511  | 木暮接骨院<br>0276-37-0926  | 川浦接骨院<br>027-371-5581<br>観音塚牛込接骨院<br>027-325-5941 | 石原整骨院<br>027-388-8382     | 秋山接骨院<br>0274-63-6139   |
| 28日(日) | 須藤接骨院<br>027-266-9478   | 平田接骨院<br>0270-32-0498       | 新井接骨院<br>0277-44-7577<br>佐藤接骨院<br>0277-51-5858   | 長谷川接骨院<br>0276-46-1358 | 武田接骨院<br>027-343-2768<br>こじま接骨院<br>027-363-8668   | わこう接骨院<br>027-321-8872    | 涌永接骨院<br>0274-62-1059   |



QRコードからも  
アクセスできます

休日当番は変更となる場合があります。  
詳しくは当会ウェブサイトにて、ご確認をお願い致します。

 <http://www.sekkotuin.or.jp/kyujitu/index.html>



公益社団法人  
群馬県柔道整復師会  
Gunma Prefecture  
Judo Therapist  
Association



ぐんばる 109号 2022年8月1日発行(毎月1回1日発行)  
発行人: 原澤研祐 発行・印刷: (公社) 群馬県柔道整復師会  
編集人: 関 尚之 編集: (公社) 群馬県柔道整復師会広報部

〒370-0022 前橋市千代田町 1-1-8 ☎ 027-234-2323  
mail gunma@sekkotuin.or.jp URL <http://www.sekkotuin.or.jp/>



**Build a better future.**



公益社団法人  
群馬県柔道整復師会

Gunma  
Judo therapist  
Association

 <http://www.sekkotuin.or.jp/>